

宮城県色麻町

持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

2022.04.01

Vol.

6

April, 2022

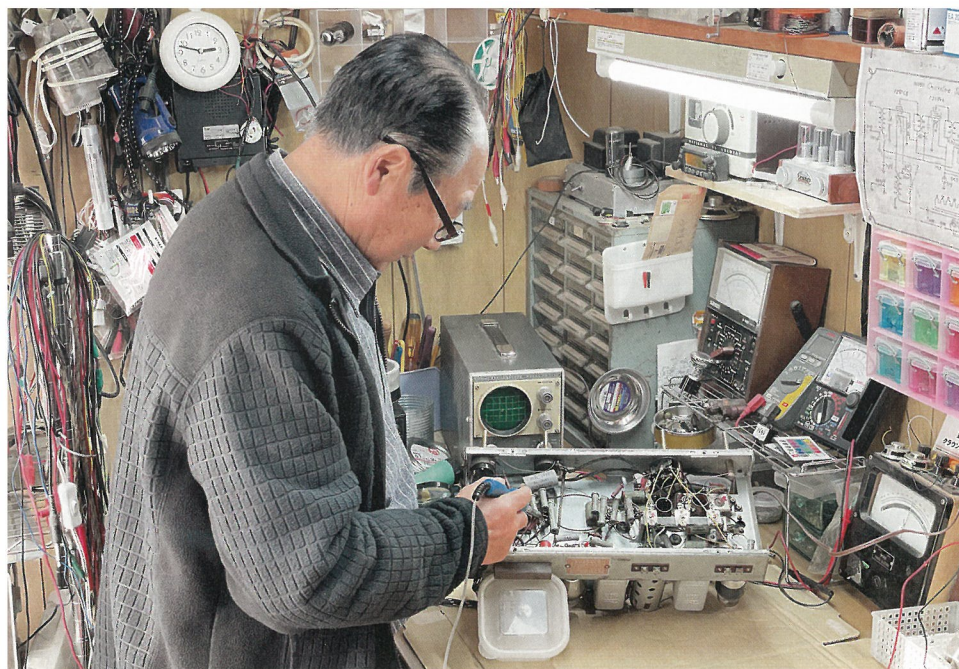
第 6 号
隔月 1 日発行

しかま支え合い 情報誌

特集

人、時代、ありのままに

示資料協力者：今野榮晃氏

人にフォーカスした
一つのドキュメンタリーを
撮りたくなった

自宅の工房で、ラジオを修理する今野さん。



↑自宅の庭に建つアマチュア無線のアンテナ。

↓使用してきたカメラ。左3つはフィルム時代のもの

ラジオに夢中だった
少年時代

宮城県色麻町の新田地区に、立派なアマチュア無線のアンテナを備えた今野榮晃さん（八二）の家があります。

「小学校の理科の時間、乾電池を使って豆電球に灯りが点く実験をやったんです。それがとても不思議でね。そこから機械が好きになったんです」。少年だった今野さんは、そこからラジオに夢中になっていきました。小六頃にはラジオを自作できるようになっていました。

悔しさを糧に
渾身の作品を製作

「中学校の時の友達三人で、いつもラジオのこどばかり話していましたが、限界を感じるようになりまして」。もっと詳しくラジオを知りたいと思い、高校在学中に、お金を貯めて、通信講座で学びました。「おかげで知識の幅が広がりました」と語るように、今野さんの知識は一口並みになりました。

高校を出て、有線放送農業協同組合に就職した今野さんは、映像に傾倒していきます。初めは子どもの成長などをホームビデオ感覚で撮っていましたが、ドキュメンタリーを作りたくなり、村民運動会の様子を映像にしました。「これが当時の公民館の職員の方に気に入られて、職員の方が仙台の品評会に持っていったんです」。そこで、今野さんは審査員から酷評されます。「あ

の時は悔しいやら恥ずかしいやら、酷い気分でした」。その時の悔しさをバネに、隣町で荷馬車業を営んでいた方にフォーカスして、毎週土曜の午後、三年間取材に通り続け、「荷馬車物語」というドキュメンタリー作品を作り上げました。その作品を映像コンテストに出品すると、午年だったこともあってか、あれよあれよという間に全国大会にまで進出することになりました。新聞等マスコミにも取り上げられました。

アマチュア無線の技術を活かし 地域や人の役に立ちたい

以来、今野さんはあちこちから撮影を頼まれるようになり、町の移り変わりを映像に納め続けて来ました。「今は映像を撮るのはとても簡単になりましたが、個人情報等の問題で、撮るのも難しくなってきました」と今野さんは寂しように語ります。以前は映写機を操れる人も限られており、映像は鑑賞会に来場した人しか見られませんでした。「それ

だけに映像の価値は今よりも高かったのだと思います」と話します。今野さんは現在、宮城県アマチュア無線クラブ赤十字奉仕団に所属し、大好きなアマチュア無線の技術を活かし、災害支援活動に協力しています。「無線は足腰が衰えても機械さえ使えば協力できます。この活動はいつまでも続けたいですね」といきいきと語っていました。



もはやライフワークのアマチュア無線を操る今野さん。



【活動・所属等】

- アマチュア無線 JA7-FPS (昭和42年開局)
- ◎ 宮城県アマチュア無線クラブ赤十字奉仕団 JE7-YZDに所属
- ◎ 加美船形ハムクラブJA7-YPVに所属
- ◎ 加美映像倶楽部に所属
- 宮城県自作視聴覚教材コンクールで優秀賞受賞
- 町内の各種行事の様子を映像や音源で記録し、町公民館や社会福祉協議会等へ寄贈を行っている。

今でも精力的に活動しています。



SDGs 目標 11



カメラを操る今野さん。



ずらりと並ぶアンティーク機材のコレクション。

Information

【生活支援コーディネーターからのお知らせ】

皆さんの活動・地域の活動情報をお寄せください！
生活支援コーディネーターの菅原が伺います(^-^)/

こんにちは！色麻町生活支援コーディネーターの菅原一杉です！

皆さんの地区で地域のために活動されている方や地区での活動、お茶飲み会や各種ものづくり等の情報がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

生活支援コーディネーターの菅原が取材にお伺いし、支え合い情報誌にてご紹介させていただきます。支え合い情報誌は、町内全戸配布の他、町外・県外の施設にも配布されます。

皆さんの地区の活動が、町内外の地域を活性化するヒントとなり、よりよい社会づくりに貢献していきたいと思っています。ご協力よろしくお願いたします！

【連絡先】

TEL:0229-65-2260 FAX:0229-66-1713
E-mail:shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp



色麻町社会福祉協議会
色麻町生活支援コーディネーター

すが わら かず すぎ
菅 原 一 杉

色麻のコミュニティ紹介

ふれあい食堂 ボランティア大募集！

ふれあい食堂は、おうちの人帰ってくるまで、お友達や大人の人たちとテーブルゲームやニュースポーツで遊んだり、勉強したりして過ごせる、まちの人と交流できる子どもの居場所です。4月のふれあい食堂は、4月27日（水）16:00～18:30に町農村環境改善センターにて行います。

ふれあい食堂では、子どもの遊び相手や学習支援をしていただけるボランティアを募集しています。高校生や大学生の方でも応募可能です。関心のある方は、右記のQRコードより、メールでお申込みください。



申込用QRコード
詳細のお問い合わせは
色麻社協まで。



加美農の生徒さんに勉強を教わる様子



しめ縄づくりを教わる様子

ふれあいは一と訪問事業 協力員募集！

【ふれあいは一と訪問事業とは】

新型コロナウイルス感染症の影響で、人とふれあう機会が減少したことによる、健康や精神面への悪い影響を緩和することを目的として、75歳以上の一人暮らしの方を訪問し、お話ししたりお弁当を配達したりする活動です。

【募集定員】8名

【実施期間】令和4年5～12月、令和5年3月

【活動時間】10:00～15:00

【謝礼】5,000円/月

【移動方法】社協の公用車を使用させていただきますが、ご希望によっては、自家用車をお使いいただいてもかまいません。

【同意書】個人情報を扱うこととなりますので、守秘義務を遵守する旨の同意書に署名・捺印させていただきます。

【保険】ボランティア保険に入っております。保険料は社協が負担いたします。

お問い合わせは、色麻社協までお電話
(65-2260)又は下記QRコードよりメール
でお寄せください。



お問い合わせ用QRコード



しかま支え合い情報誌 vol.6

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

URL：http://www.shakyo.or.jp/hp/287/

しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。